

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

佐倉支部
若さで優勝

結成5周年記念
野球大会
2/5 (準決勝・決勝戦)

七月五日、勤労千葉結成五周年記念「軟式野球大会」の準決勝・決勝戦が更科球場で行われ、青年部員を中心とした佐倉支部が若さで優勝をかちとりました。

（サークル協通信員・発）

(サークル協通信員・発)

佐倉、成田に辛勝

★準決勝第一試合

佐倉	成田
1	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
X	0
1 X	0

(成田) 伊藤・神崎―境、
(佐倉) 小林―椎名(直)

佐倉は初回、成田の拙守により、ノーヒットで1点先取。その後、再三の追加点のチャンスを描攻でつぶす。成田は小林投手（佐倉）の好投のまゝに完全に押さえられ、得点をあげることができなかった。

★準決勝第二試合

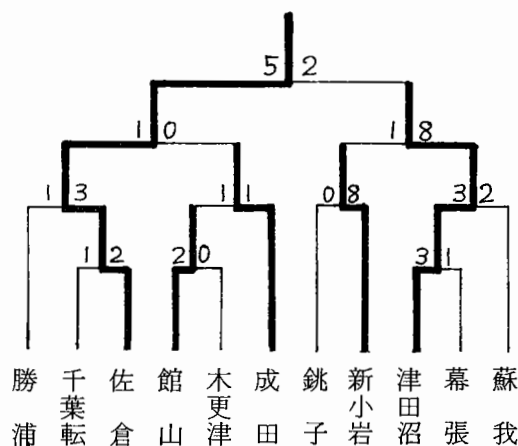
新小岩	津田沼
1	2
0	0
0	0
0	3
0	0
0	0
0	3
1	8

(津田沼) 鈴木・小倉――江沢
(新小岩) 松本・小作――並木

津田沼は初回、松本投手（新小岩）



決勝戦—(攻)津田沼チーム、(守)佐倉チーム。



決
戰
戰

津田沼	0	0	0	1	0	0	1
佐倉	1	1	1	0	0	2	X
(津田沼)行川・江沢・江沢・石川							1 X 2

(佐倉) 小林——椎名

一回裏、行川投手（津田沼）の三連続四球で佐倉が１点先取。代わった小倉投手を攻め二回、三回にも小林の三塁打などで各１点を追加。

津田沼は四回に1点を返したが、佐倉は六回に大竹のタイムリーなどでダメ押しの2点。

津田沼は最終回1点を返したが及ばず、佐倉の圧勝に終わる。



最優秀選手賞に輝いた小林選手（佐倉）

優 勝	佐倉支部
準優勝	津田沼支部
第三位	新小岩支部・成田支部

試合終了後、表彰式に移り、中野サークル協議長から「厳しい状況をふきとばす勢いをもつて、サークルを通じて団結を固め明るく大胆に闘つていこう」とのあいさつをうけ、表彰状とトロフィーが贈られました。

最後に、田中スポ連副会長の閉会のことばをもつて、全日程を終了しました。成績、各賞は次の通りです。



優勝トロフィーを囲んで、佐倉チーム。

個人賞

最優秀選手賞	小林選手（佐倉）
打撃賞	古川選手（津田沼）
敢闘賞	鈴木選手（津田沼）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！